

平成30年8月1日

出雲市議会議長
福代秀洋様

陳情書

出雲市認可保育所（園）保護者会連合会
会長 橋崎智弥

子どもの医療費の負担軽減に関する陳情

【趣旨】

小学校卒業までの医療費無料化、又は一人当たりの自己負担額の上限設定をお願いいたします。

【内容】

現在、小学校就学前までは、乳幼児等医療費助成制度により無料となっておりますが、乳幼児はいずれ成長し、小学生となります。私ども連合会で本年度も実施した保護者に対するアンケートにおいて、約8割の保護者から、小学校卒業までの医療費無償化を求める回答がありました。また、アンケートの自由記載欄では、「松江市と同様に無償化にしてほしい。」や「医療費が掛かるため、病院へ連れていくのをためらってしまう。」などの意見が聞かれました。

子どもは出雲市の将来を担う宝です。市に子育てを応援していただき、子育て家庭の過度な負担を軽減していただく必要があると考えます。小学校卒業までは、怪我や病気により医療機関を利用するケースも多く、成人と同様の三割負担では、家計の逼迫を招いております。

出雲市も財政難の折とは存じますが、県内の他の自治体の水準を勘案いただき、安心して子育てを行うことのできる環境づくりのため、医療費の無料化、又は児童一人当たりの月間の自己負担上限額を定め、それを超える金額に関しては、公費にて賄っていただけないかと願う所存です。

市の小学校PTA連合会からの陳情を行う機会がないため、当連合会においても各保護者からの意見を貴重なものと考え、陳情するに至りました。

前記の趣旨をご理解いただき、採択をいただきますようよろしくお願いいたします。

以上

議 会 第 4 1 0 号

平成30年(2018)9月27日

出雲市認可保育所(園)保護者会連合会

会長 橋崎 智 弥 様

出雲市議会議長 福代 秀洋



陳情の審議結果について (お知らせ)

平成30年(2018)8月1日付けで提出がありました下記陳情は、平成30年度(2018)9月定例市議会において審議の結果、不採択 になりましたのでお知らせいたします。

記

件 名 子どもの医療費の負担軽減に関する陳情

【審議結果理由】

子育て支援について、年々予算を増額させながら総合的に取り組まれている中、小学校卒業までの医療費無料化、又は一人当たりの自己負担額の上限設定を実施することは、更に膨大な財源が継続的に必要になる。

医療費の無料化は、全国一律の医療費制度として、原則、国が実施すべきである。